

産学協働プログラム

「持続可能な社会を支える都市・インフラ学」  
キックオフシンポジウム

国立大学法人 東京科学大学  
環境・社会理工学院  
学院長 岩波光保



## ◇プログラムの背景

地球環境問題への対応、巨大化する自然災害への備え、生物多様性の確保、グローバルな経済活動とローカルな歴史、文化、生活の両立など**現代社会を取り巻く課題**は複雑化しています。わが国では人生100年時代の到来により社会の形が大きく変わろうとしています。

**人類が歴史上経験のしたことがない大きな変化の中で、ひとの考えや行動はどのようになるのか、持続可能な社会をどのように実現していくのか、社会を支える都市やインフラをどのように構築するのか、今こそ考え抜くべき時と我々は考えます。**

以上の認識のもと、産学協働プログラム「持続可能な社会を支える都市・インフラ学」を始動しました。皆様と一緒に考え、行動したいと思います。

## ◇プログラムの狙い

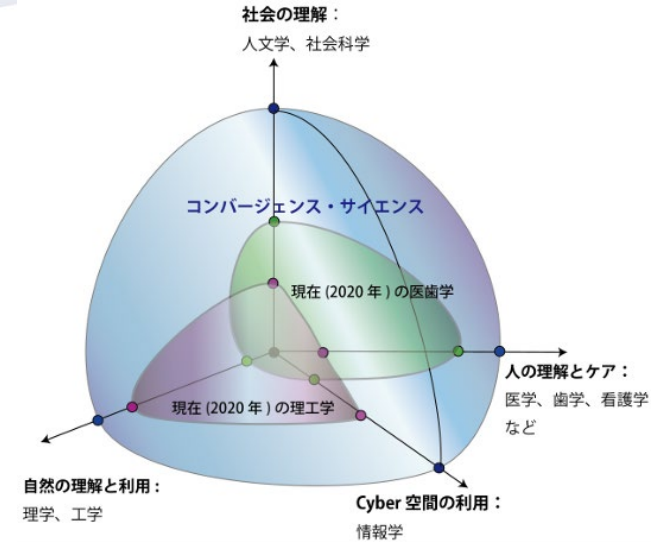
Science Tokyoの多様な領域の「知」に加え、参加企業や広く社会の「知」を融合し、長期的な視点に立って、「ひと」や社会の変容、都市・インフラのあり方と実現のための課題の解明に向けて活動します。

- 「ひと」の考えや行動はどのように変わっていくのか？
- 持続可能な社会とは？ 社会を支える都市・インフラとは？
- どのように実現していくのか？
- 世界に貢献するために、我々はなにをすべきか？

## ◇プログラム期間

2025年6月～2028年3月

## 2024年10月 Science Tokyoが始動 コンバージェンス・サイエンス



### 世界をリードする10の研究分野



理工学分野と医療分野の最先端領域を推進し、社会課題の解決や豊かな未来社会の実現に貢献していきます。

# ◇プログラムの特長

## ▶ 理工学、医歯学、人文社会科学にわたる超学際研究

環境・社会理工学院を中心に、Science Tokyoの多様な研究者を結集した超学際研究チームを編成し、長期的な視点で検討を進めます。

## ▶ Science Tokyoの世界最先端の科学技術の活用

先進エネルギー、建設、情報、AI、医療、生命科学など世界をリードする領域とのコラボレーションにより、最先端かつ高度な視点で議論を進めます。

## ▶ 参加企業、専門家、行政との対話による課題の追求

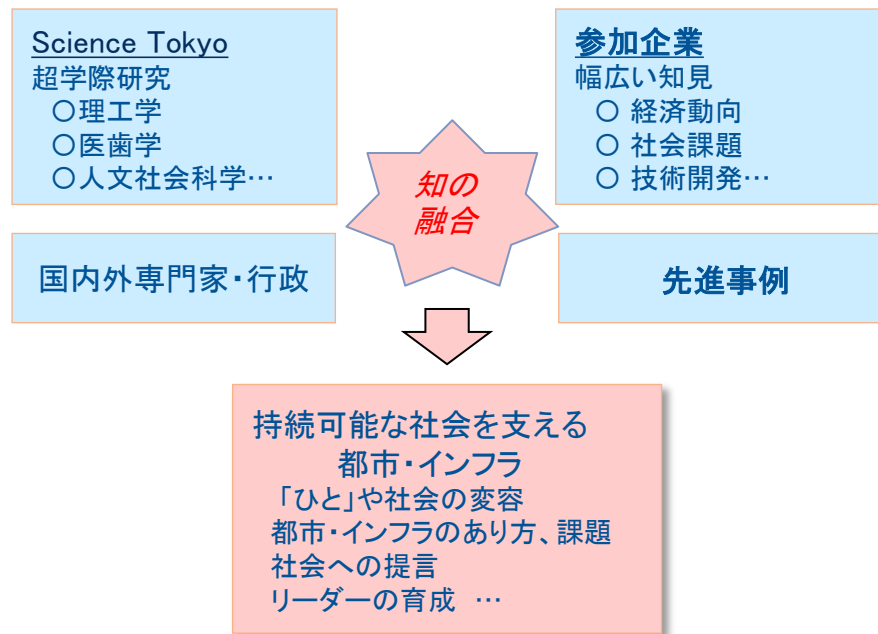
参加企業、国内外の専門家や行政との対話により、研究にとどまらず、社会にとって実践的な成果を目指します。

## ▶ 参加企業とともに成果を社会へ提言

プログラムの成果を取りまとめ、研究論文、SNS配信、シンポジウム開催、書籍発刊などにより、参加企業とともに広く社会へ提言します。

## ▶ 次代を担うリーダーの育成

3年間のプログラム活動を通じて、企業からの若手参加者が次代を担うリーダーとして成長することができます。また、プログラムに参加する本学学生のキャリア形成やリーダーシップ力の涵養にも寄与します。



**“明るい未来社会の形成のために今できることをともに”**

「ひと」に関わる検討を基礎に、次の3つのコアテーマについて検討します。具体的な進め方については、企画・連絡会議で参加企業と議論した上で決定します。

## #1 ウェルビーイング × 都市・インフラ

- ・ウェルビーイング(well-being)とは、「身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされた状態」であり、今後の社会、都市・インフラのあり方を考える上で重要な概念。
- ・一人ひとりのウェルビーイングを実現する、これからの都市・インフラのあり方を探求。

～幸福、健康、ヘルスケア、ワークスタイル、行動変容 …

## #2 循環経済 × 都市・インフラ

- ・循環経済/サーキュラーエコノミー(circular economy)とは、製品、素材、資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小限化する経済システム。都市・インフラ分野でも取組。
- ・”循環経済“の実現に向けて、長期の視点で、都市・インフラのあり方を探求。

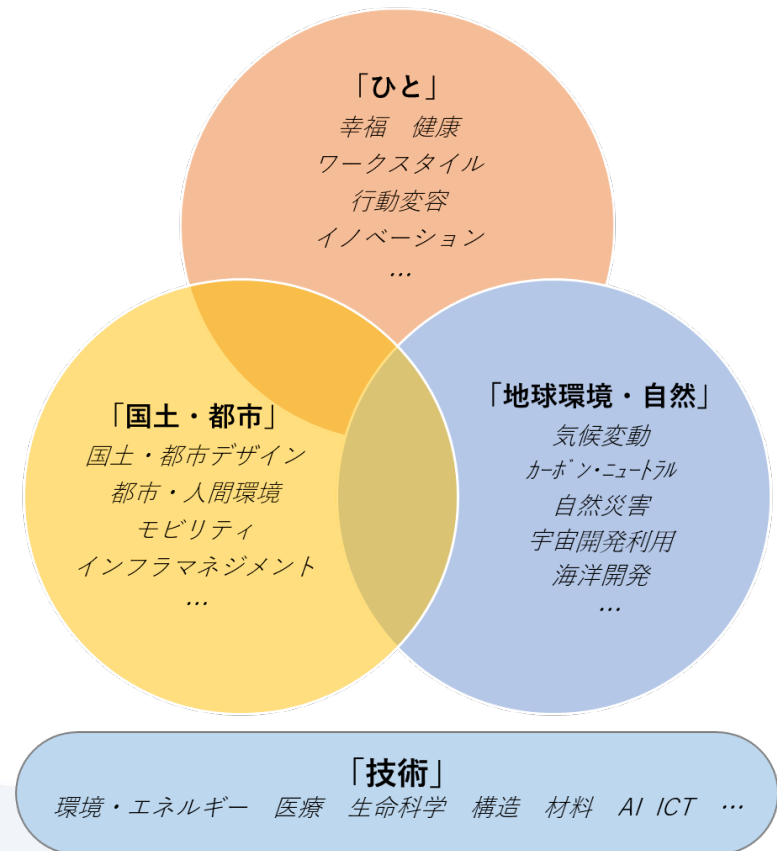
～ホールライフカーボン削減、グリーンインフラ、3R(Reduce, Reuse, Recycle)、エネルギー、メンテナンス、モニタリング …

## #3 フロンティア領域 × 都市・インフラ

- ・宇宙、海洋などフロンティア領域における未来の都市・インフラの可能性を多角的かつ先導的に探究。

～政策動向(宇宙戦略等)、深海、大深度空間、フロンティア技術 …

「ひと」、「国土・都市」、「地球環境・自然」、「技術」にわたる研究領域の融合—超学際—により検討を進める



# 本日のスケジュール

- 15:00～15:05 開会挨拶 岩波光保（環境・社会理工学院長）
- 15:05～15:25 挨拶 大竹尚登（理事長）
- 15:25～15:55 講演1 「今後のわが国の医療の姿 ～行政目線で見えてくること～」  
岡田就将（大学院医歯学総合研究科 教授）
- 15:55～16:25 講演2 「くらしとエネルギーを変えるサーキュラーエコノミー」  
分山達也（環境・社会理工学院 准教授）
- 16:25～16:35 休憩
- 16:35～17:25 次世代研究者によるパネルディスカッション  
モデレーター：調麻佐志（リベラルアーツ研究教育院 教授）
- 17:25～17:30 閉会挨拶 岩波光保
- 17:30～19:30 懇親会